



## **30% Club Japan - Investor Group Chair**

Douglas L. Hymas

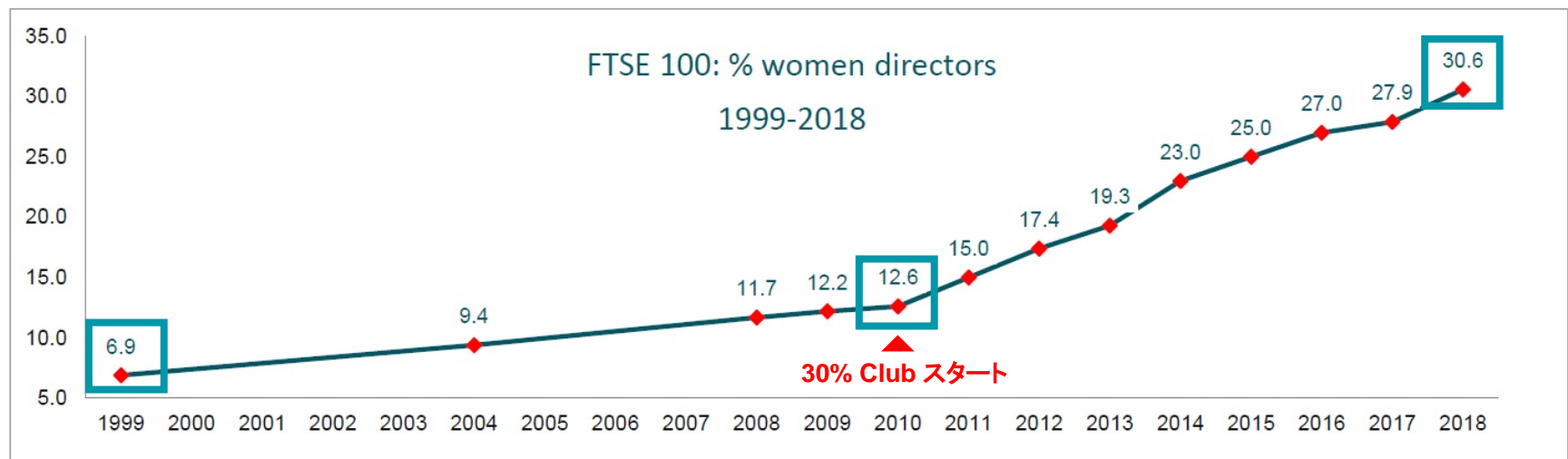
2020年10月12日

# 1. 30% Clubの概要

## 30% Club の概要

- 30% Clubは2010年に英国で創設された役員に占める女性割合の向上を通して企業の持続的成長の実現を目的とする世界的なキャンペーン
- 15か国で展開(英国、米国、オーストラリア、カナダ、アイルランド、イタリア、トルコ、GCC、香港、マレーシア、日本、南・東アフリカ、ブラジル、チリ)  
※現在中国、ポーランドで設立準備中
- 30% Clubは多くの展開国で女性役員が増加に大きな実績:

<英国の例> FTSE-100 女性割合: 12.6% (2010) → 30.6% (2018)



## 30% Club の特徴と成功要因

1

### 企業・組織の トップのみがメンバー

変革を起こす上で必要となる権力とリソースを持つ企業・組織のトップ(社長、会長、ボード議長)のみがメンバー

2

### 意思決定機関の 多様性を促進

重要な意思決定機関の多様性促進に注目し、企業価値向上に向けた、正しい判断が行われることを目指す(グループシンクの回避)

3

### 統合的アプローチ (コレクティブ・インパクト)

ジェンダー平等実現に重要となるステークホルダーが協働するプラットフォーム: 企業、機関投資家、メディア、大学、政府、等

## 2. 30% ClubのJapanの概要

## 30% Club Japanのローンチ

### ■ 2019年5月1日に14か国目として正式に活動を開始

#### 創設メンバー:

Founder: 只松美智子 (デロイトトーマツ コンサルティング)

#### Founding Chairs/CEOs:

- 飯沼綾 (ハイドリック&ストラグルズ)
- 魚谷雅彦 (資生堂)
- 後藤順子 (デロイトトーマツ グループ)
- ダグラス・ハイマス (BNY Mellon)
- 坂東真理子 (昭和女子大学)

### ■ 30名のメンバーで活動開始(うちTOPIX100 11社)

### ■ 同時にInvestor Groupも活動開始

### ■ 目標:

2020年までにTOPIX100の役員に占める女性割合を10% (達成済み)

2030年までにTOPIX100の役員に占める女性割合を30%

# 現在の活動状況

## ②メンバー: TOPIX500を重点的に勧誘

2019年5月

**30名**

(うちTOPIX500:13名)

2020年9月

**58名 (+28名)**

(うちTOPIX500:24名(+11名))\*1

### TOPIX100(16名)

- 味の素株式会社 西井孝明
- アステラス製薬株式会社 畑中好彦
- ANAホールディングス 片野坂 真哉
- MS&ADインシュアランスグループホールディングス 柄澤康喜
- 花王株式会社 澤田道隆
- キリンホールディングス 磯崎功典
- 株式会社資生堂 魚谷雅彦
- SOMPOホールディングス株式会社 櫻田謙悟
- 第一生命保険株式会社 稲垣 精二
- 株式会社大和証券グループ本社 日比野隆司
- 株式会社大和証券グループ本社 中田誠司
- 東京海上ホールディングス株式会社 小宮暁
- 株式会社日立製作所 東原敏昭
- 株式会社りそなホールディングス 東和浩
- 株式会社りそなホールディングス 南 昌宏
- ユニ・チャーム株式会社 高原豪久

### TOPIX400(8名)

- 株式会社 電通グループ 山本敏博様
- 株式会社丸井グループ 青井 浩
- 日立ハイテクノロジーズ
- 新生銀行 工藤 英之
- ライオン株式会社 濱 逸夫
- 株式会社ローソン 竹増 貞信
- パーソルホールディングス株式会社 水田 正道
- 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 鈴木 郷史

青字は2019年5月以降入会

\*1: 日立ハイテクノロジーズは2020年よりTOPIX400銘柄から除外

## 現在の活動状況

### ③ワーキンググループ:4つのワーキンググループが設立され積極的に活動を実施

ワーキンググループ名	加盟企業数	1年間の主な活動
<b>TOPIX社長会</b> (チェア:魚谷雅彦)	24名	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社長会とPMチームから成る効果的なチーム体制の構築</li><li>・ TOPIX社長会2回開催(第1回12名、第2回17名参加)</li><li>・ TOPIX PMチーム 4回開催</li><li>・ 分科会の立ち上げと活動開始</li><li>・ 役員候補と社長メンバーとの交流会実施</li></ul>
<b>インベスターグループ</b> (チェア:ダグラス・ハイマス)	24社 (+20社)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ メンバー企業が24社(GPIF、日系AM、大手外資系AM)</li><li>・ 資産運用残高:約1500兆円、うち日本企業への投資額約150兆円(TOPIX(600兆円)の25%を占める)</li><li>・ 機関投資家の活動報告書「アニュアルレポート」を10月リリース予定。エンゲージメントのベストプラクティスをメインに掲載</li><li>・ Thought Leadership レポートを作成中</li></ul>
<b>大学 ワーキンググループ</b> (チェア:坂東真理子)	6大学	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 9月設立(キックオフミーティングを9月7日開催)</li><li>・ 創立大学メンバー:東京大学、慶應義塾大学、大阪大学、昭和女子大学、津田塾大学、新潟大学</li><li>・ 今後検討する施策:役員候補育成を含む育成プログラム、奨学金(MBA、STEM等)、大学トップ層のダイバーシティ促進、学生の啓蒙を目的としたイベント等の開催</li></ul>
<b>メディアグループ</b> (チェア:只松美智子)	--	<ul style="list-style-type: none"><li>・ メディア企業のメンバーは2社であり、サブグループを形成するには少ないため、有志のメンバーで活動中</li><li>・ 広告における有害なステレオタイプによる炎上を防ぐための勉強会を企画</li></ul>

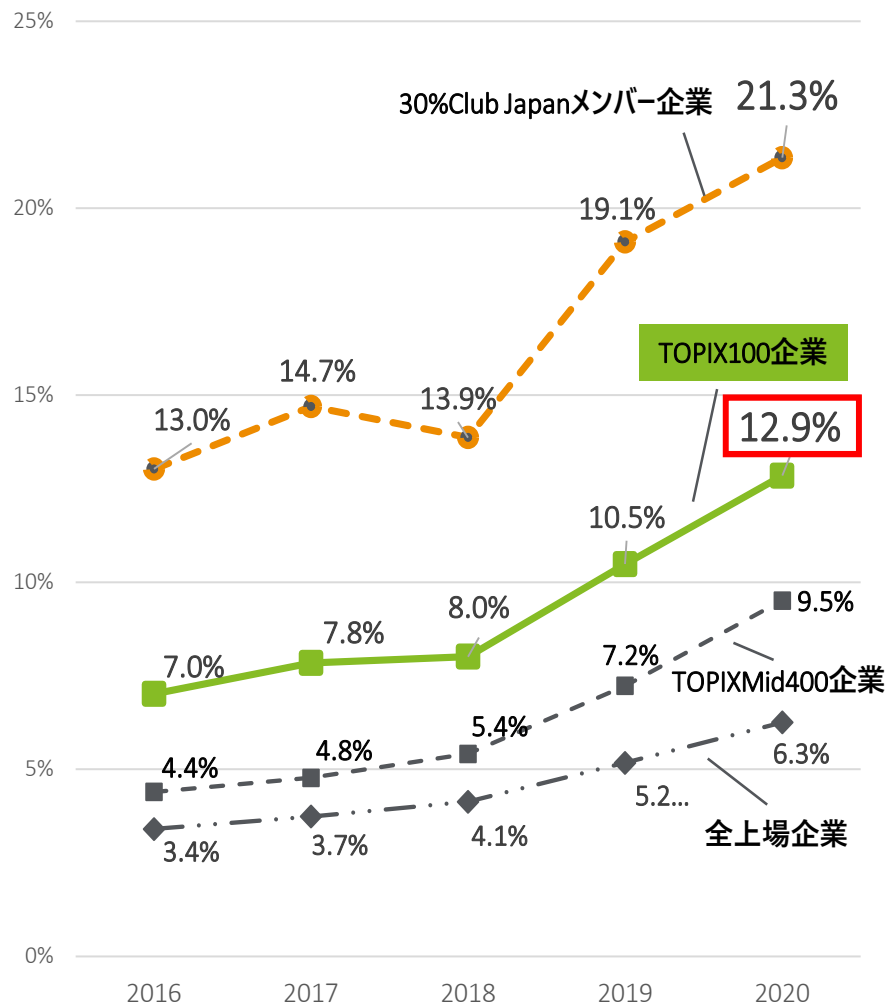


### **3. 女性役員割合の状況**

# 女性役員割合推移とTOPIX100における女性役員0名企業数

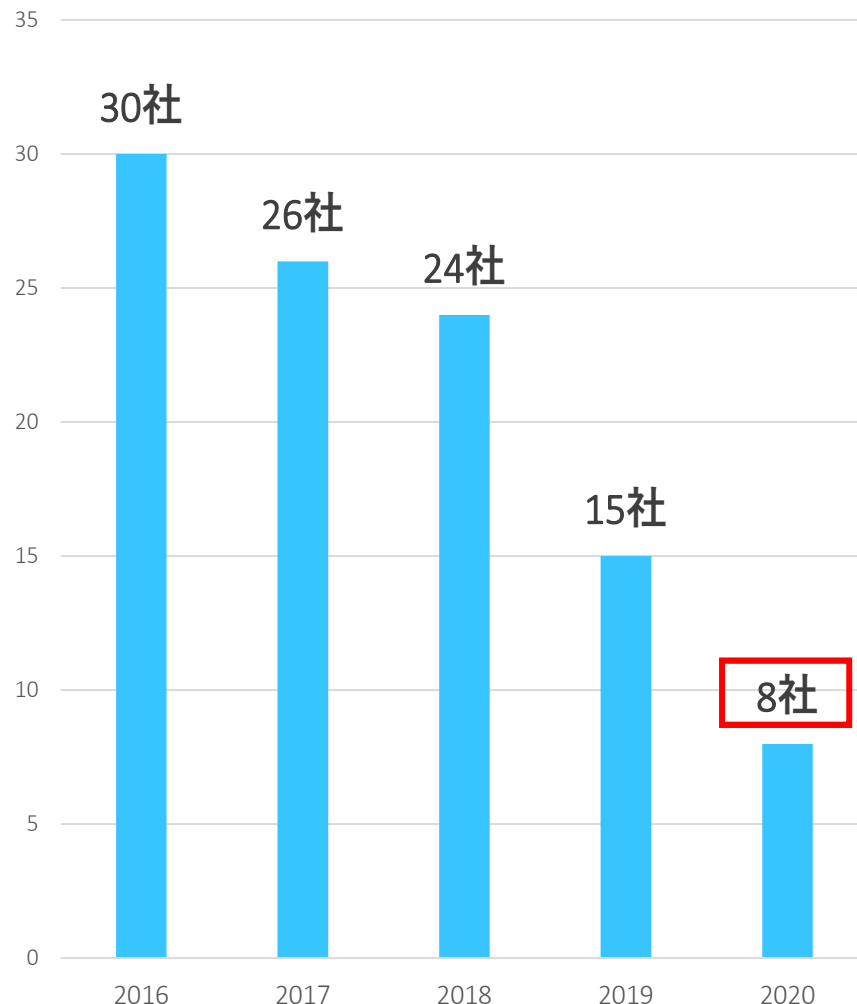
グラフ①

女性役員比率推移（2016-2020年）



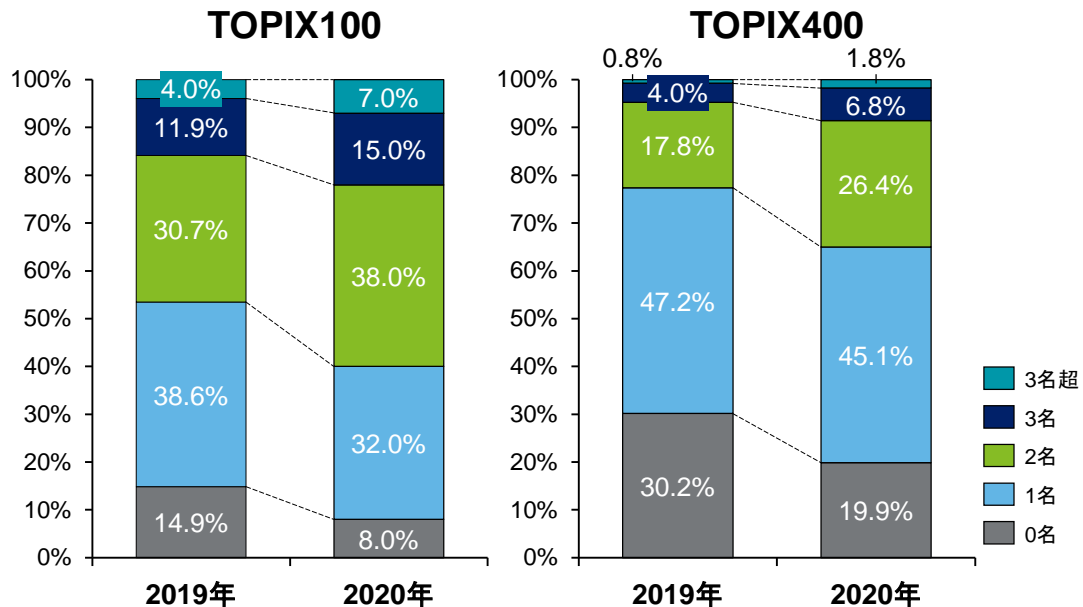
グラフ②

女性役員数0名企業推移（2016年-2020年）



# 女性役員人数割合 2019年と2020年比較(TOPIX100 & 400)

## 女性役員数企業割合



	TOPIX100		TOPIX400	
	2019年	2020年	2019年	2020年
0名	15	8	120	79
1名	39	32	188	179
2名	31	38	71	105
3名	12	15	16	27
3名超	4	7	3	7
	101	100	398	397

平均Total 役員数(2019, 2020):

TOPIX 100=約14名、TOPIX400=約13名

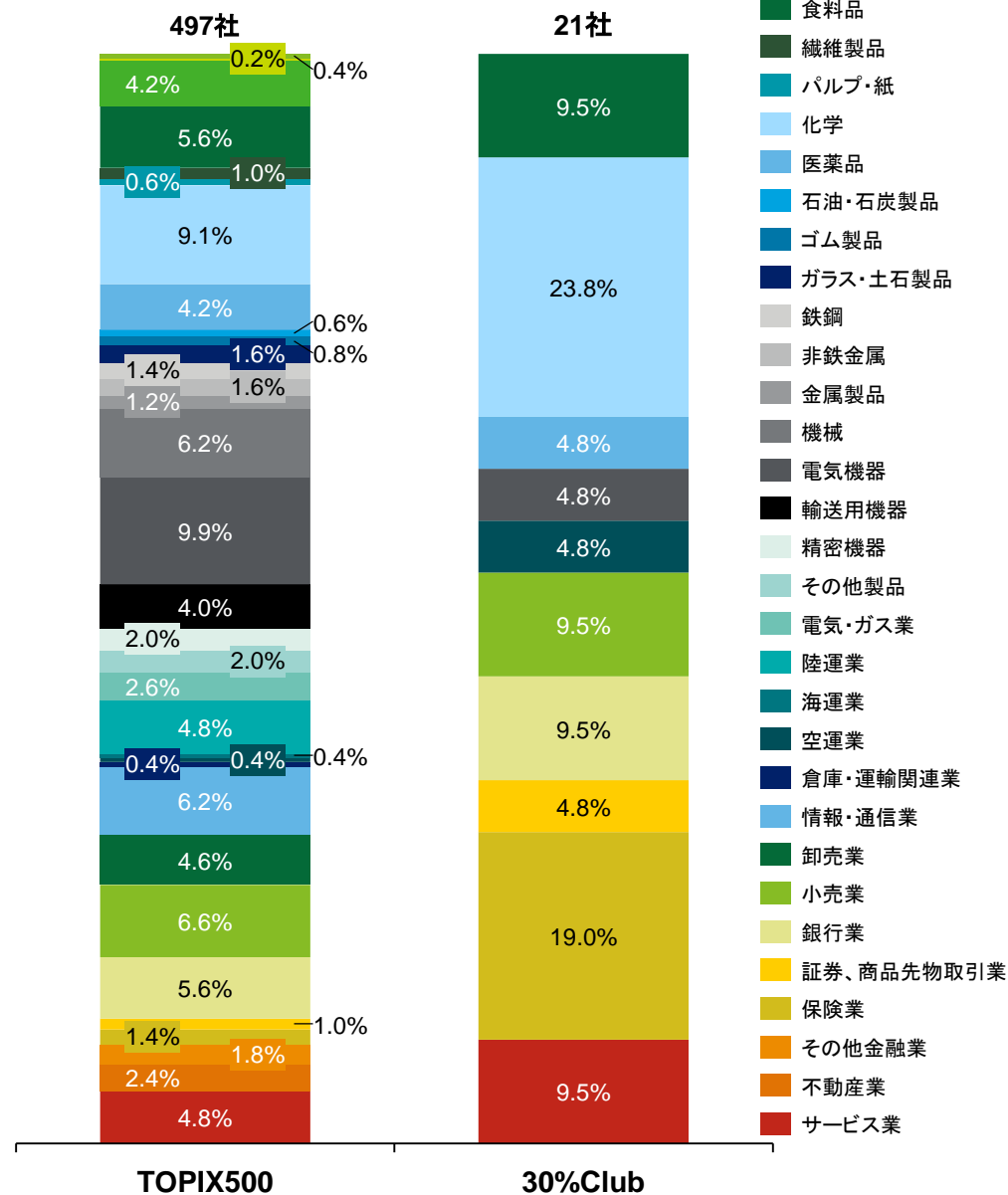
## 女性役員数0名企業の変化

2019年女性0名企業 (TOPIX100)		2020年
企業名	業種	女性役員数
東レ	繊維製品	0
信越化学工業	化学	0
SMC	機械	0
キーエンス	電気機器	0
ファナック	電気機器	2
日東電工	化学	**TOPIX100から除外
いすゞ自動車	輸送用機器	1
スズキ	輸送用機器	1
キャノン	電気機器	0
任天堂	その他製品	1
住友不動産	不動産業	1
東海旅客鉄道	陸運業	0
セコム	サービス業	1
ニトリホールディングス	小売業	0
ソフトバンクグループ	情報・通信業	1
オリンパス株式会社 **2019年はTOPIX mid400	精密機器	0

2020年も0名のままであった企業

# 2020年業種別女性役員割合 (TOPIX500 & 30% Club Japan)

業種	TOPIX500			30%Club		
	企業数	構成銘柄数 (%)	女性役員 (%)	企業数	構成銘柄数 (%)	女性役員 (%)
水産・農林業	2	0.4	11.1	0	0.0	-
鉱業	1	0.2	10.5	0	0.0	-
建設業	21	4.2	7.7	0	0.0	-
食料品	28	5.6	13.6	2	9.5	22.6
繊維製品	5	1.0	8.5	0	0.0	-
パルプ・紙	3	0.6	8.7	0	0.0	-
化学	45	9.1	9.6	5	23.8	23.2
医薬品	21	4.2	10.8	1	4.8	18.2
石油・石炭製品	3	0.6	11.9	0	0.0	-
ゴム製品	4	0.8	6.9	0	0.0	-
ガラス・土石製品	8	1.6	8.3	0	0.0	-
鉄鋼	7	1.4	8.8	0	0.0	-
非鉄金属	8	1.6	9.5	0	0.0	-
金属製品	6	1.2	11.8	0	0.0	-
機械	31	6.2	6.1	0	0.0	-
電気機器	49	9.9	10.3	1	4.8	15.4
輸送用機器	20	4.0	10.0	0	0.0	-
精密機器	10	2.0	8.5	0	0.0	-
その他製品	10	2.0	13.7	0	0.0	-
電気・ガス業	13	2.6	11.5	0	0.0	-
陸運業	24	4.8	7.6	0	0.0	-
海運業	2	0.4	20.8	0	0.0	-
空運業	2	0.4	6.7	1	4.8	6.7
倉庫・運輸関連業	2	0.4	6.1	0	0.0	-
情報・通信業	31	6.2	8.3	0	0.0	-
卸売業	23	4.6	10.9	0	0.0	-
小売業	33	6.6	13.9	2	9.5	36.0
銀行業	28	5.6	11.8	2	9.5	30.0
証券、商品先物取引業	5	1.0	14.8	1	4.8	23.1
保険業	7	1.4	15.3	4	19.0	17.7
その他金融業	9	1.8	10.3	0	0.0	-
不動産業	12	2.4	9.4	0	0.0	-
サービス業	24	4.8	11.9	2	9.5	14.3



# Case Studies – from Investor Group Annual Report

## ケース3: 食品飲料 C社

### 運用会社による課題認識

- TOPIX Large70 - 大手食料品企業
- 女性の活躍と多様性の推進に実績がある
- 対話時における取締役は全員が男性であった。

### 対話内容・会社からのコメント

- 多様性の重要性に鑑み
- 女性管理職の目標数を定め、女性の育成と活躍を推進するための組織風土の実現を目指す

### 成果と今後

- 2020年3月の株主総会において、女性取締役2名を選任
- 「One and done(1人任命したので、もう完了)」という姿勢は日本企業に限った問題ではないが、初めから2名の女性を登用したC社はそのようなトークニズムを回避した好事例である。

## Case Studies – from Investor Group Annual Report (続き)

### ケース5: 情報通信 E社

#### 運用会社による課題認識

- TOPIX Mid 400に採用されるシステムインテグレーター
- 2006年頃からワークライフバランスなど、働き方や多様な人材活用などの必要性から、トップがダイバーシティの重要性を意識し、取り組みをスタート
- 海外拠点と比べ日本拠点の女性管理職比率の低さを認識

#### 対話内容・会社からのコメント

- 12年に初めて女性(弁護士)の監査役が誕生した
- 女性役員を増やすきっかけとなった、
- 現在、監査等委員設置会社であり女性役員は2名、外国人は1名。業務執行を担う役員への女性参画も重視し、毎年増員し現在は3名である。

#### 成果と今後

- 戻ってきてさらに活躍してくれている背景にはチームワークがあったから
- チームワークの大切さを理解して、ダイバーシティのにつながっている

## My Comments:

投資家として日本のダイバーシティ現状に対してどのように思われるのか。

### Pro:

- ・安倍旧総理大臣の“Top Down” support
- ・
- ・2018年からのさらなる成長促進

### Con:

- ・取締役会等経営執行機関にジェンダーダイバーシティがクリティカルマス(30%)への動きが遅いだけでなく、その重要性認識が不十分なリーダー及び会社が多い
- ・有能な女性役員パイプラインが不充分
  - ・就職直後からジェンダー等の多様性を重視する指導者教育における体制をもつ会社、機関並びに大学が少ない
- ・“Male Ally” が足りない
  - ・分析要素として： 男性育児休暇取得率

## My Comments:

投資決定に際しては投資対象のgender equality取組をどの程度重視されるのか。

原則として重要。ただし、顧客・ファンド・マンデートによって微妙にかわる

- ESG Fundsのほとんどは厳密に重視している
- “Blacklist criteria”(基本基準を満たさない限りは投資対象として認めない;すなわち、女性役員がいない会社に運用させない)として適用する投資家もいる
- 投資対象外にしないが、株主として多様性を向上させるためにエンゲージメント及び議決権行使を通して影響を及ぼす投資家が多い





## **30% Club Japan - Investor Group Chair**

Douglas L. Hymas

2020年10月12日